

フクビグループ SDGsの取り組みに関するお知らせ

当社グループでは2020年11月にSDGs宣言を行い、2021年5月に具体的数値目標を掲げて、今後定期的に進捗状況をお知らせしていくことといたしました。このたび2023年度までの進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。



フクビグループSDGs 4つの基本姿勢・マテリアリティ・KGI・取り組み

基本姿勢 1

技術と提案力で
安心・安全・快適な
暮らしをクリエイトする

マテリアリティ:安心・安全・快適な暮らしの提供
KGI:安心・安全・快適を実現する製品開発の推進

居住空間、公共空間、気候変動、地球環境、高齢者、子どもの観点から安心・安全な製品を開発し、これらの拡販を通じ社会課題を解決する製品を増やし、住み続けられるまちづくりに貢献する。

新商品累計22件

- 物流倉庫の安全に寄与する製品:フォークガード200
- 火災の延焼を防ぐ製品:フェノバードR不燃認定取得



基本姿勢 2

環境と共に生きる
社会をクリエイトする

マテリアリティ:技術革新
KGI:資源循環の推進

低炭素社会と資源循環型社会の実現に貢献する。

- 資源循環の構築:環境ブランド「Fukuvalue」の認証基準をより明確にし妥当性を検証するための「Fukuvalue認証審査会」を新設。2030年度累計30アイテムを目指し全8アイテムを登録。
- 産業廃棄物の削減推進
- CO₂排出量の削減推進



基本姿勢 3

スマートワークで
「一人ひとり」の
価値をクリエイトする

マテリアリティ:働きがいのある仕事の提供
KGI:デジタルの活用推進
従業員エンゲージメントの向上

従業員エンゲージメントを高め、多様性と働きがいのある環境を実現させる。

- 健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定
- ペーパーレス推進:電子帳簿保存法への対応、電子契約システムの導入
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進:採用女性比率26.1%
- 人材育成・活性化:女性管理職4.2%
- 柔軟な働き方の推進:在宅勤務利用率21%、男性育休取得率33%



基本姿勢 4

パートナーシップで
持続可能な
地域社会をクリエイトする

マテリアリティ:パートナーシップ・アライアンス
KGI:パートナーシップによる価値の創出

社外とのパートナーシップを高め、共通のテーマ・目標について協働することにより、自社のみでは達成しえない社会課題の解決に貢献する。

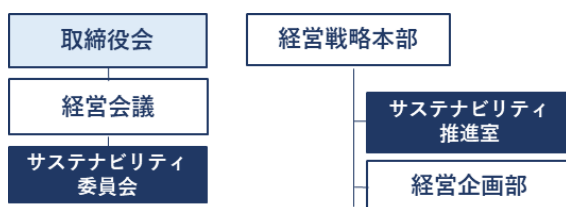
- パートナーシップ 新規5件
- 地域資源循環テーマ推進



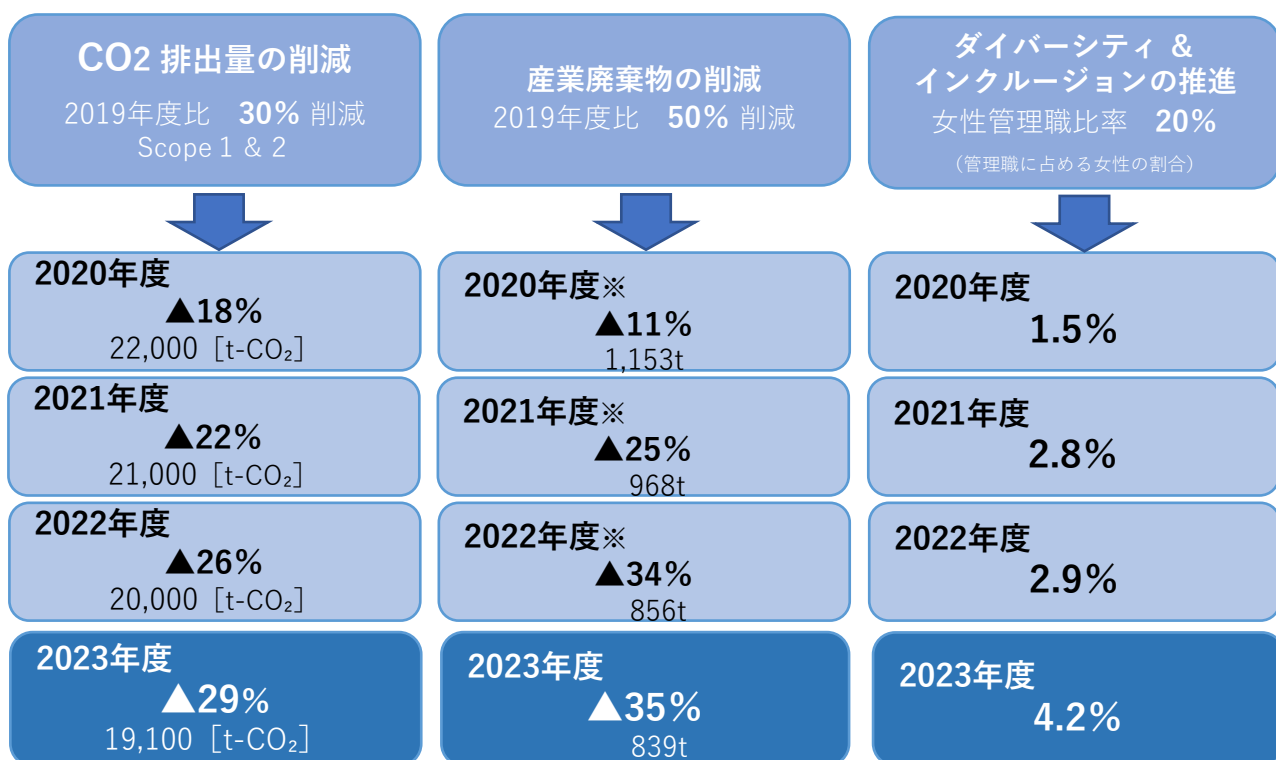
サステナビリティ・ESGの推進

当社グループでは、2023年4月にサステナビリティ委員会を経営会議の下部組織として設置し、その事務局、運営機能を主とするサステナビリティ推進室を立ち上げ、サステナビリティ・ESG推進体制の強化を図っています。サステナビリティ委員会は持続可能な企業であり続けるため、ESGに関する情報の収集と分析、存在価値の向上に向けた方針、戦略の企画・立案・提言を行います。本委員会は2回開催され、第1回は「2030年度女性管理職比率20%以上達成に向けた取り組みと課題」、第2回は「2030年度産業廃棄物2019年度比50%削減」を主題として現状分析とその対応について検討、それぞれ事業部単位の実行計画へ落とし込みを行いました。これらの計画を2024年度に実行に移し、委員会他にて進捗を確認していきます。

さらにサプライチェーンのCO₂排出量を把握し、削減目標を策定、実行していくためにScope3の算定を開始いたしました。またサステナビリティ推進室では、これらサステナビリティに関する進捗状況の情報開示を行っていくとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションの強化など当グループのサステナビリティ活動の支援や資源循環の取り組みに関する企画を立案し、実行していきます。



2030年度目標（KPI）



※産業廃棄物量は、2019年度基準値の見直しに伴い既に公表済みの進捗状況を修正

91期（2024年度）強化方針

- 資源循環推進：地域型資源循環構想 検討と推進
- 「サプライチェーン排出量」の把握と削減目標策定